

新刊案内

貸出し中の本は予約することができます。
HP・お電話でもできますので、詳しくは
カウンターまでおたずねください。

新刊コーナーにあるよ。

『大学マップ』

小林 哲夫/著

筑摩書房 [Y377 コ]

偏差値や知名度に左右されず、自分にあった大学を見つけるための本。警察官・教員採用に強い大学、学生がさまざまな選手権・コンテストで上位進出を果たしている大学、知名度が高い教員がいる大学、研究最前線の大学など、大学を特色や進路・強みなどのテーマでグループ分けして紹介する。

『9時半までのシンデレラ』

宮下 恵菜/著

講談社 [Y913 ミ]

母親の顔をうかがい「いい子」を演じる中3の莉子は、自由に生きる同い年の滯と出会い、どんどんひかれていく。夜、「パレット広場」で過ごす9時半までが、2人の特別な時間で…

『アリとダンテ、宇宙の秘密を発見する』

ベンジャミン・アリーレ・サエンス/著

小学館 [Y933 サ]

1987年の夏、15歳の少年アリは、同い年の少年ダンテと出会う。自分をストレートにぶつけてくるダンテと、愛情を素直に表現し合う彼の家族に驚きつつも、アリは彼らに惹かれ、友情を育んでいき…。LGBTQ+青春小説。

【実用書】

『遠くの人と手をつなぐ』 千葉 望/著 [Y369 チ]

『フツウと違う少数派のキミへ』 鈴木 慶太/著 [Y378 ス]

『ようこそ!富士山測候所へ』 長谷川 敦/著 [Y451 ハ]

【文芸書】

『杉森くんを殺すには』 長谷川 まりる/作 くもん出版 [Y913 ハ]

『かわらばん屋の娘』 森川 成美/作 くもん出版 [Y913 モ]

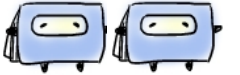
『アマリとナイトブラザーズ上・下』 B.B. オールストン/作 小学館 [Y933 オ 1・2]

*大竹市立図書館のホームページの中にティーンズコーナーがあります。
勉強や悩みにも役立つリンク等もあるのでのぞいてみてね。



大竹市立図書館ティーンズ便り第31号

〒739-0605 大竹市立戸1丁目6-1 ☎ 0827-52-5338



■利用案内

- ・開館時間 10:00~18:00 (火~土) / 9:00~17:00 (日)
- ・個人貸出 図書1人10冊 (内DVD・CD資料2点)
- ・貸出期間 2週間
- ・休館日 月曜日 (祝日の時は翌日も)・祝日・年末年始・特別整理期間
毎月末 (ただし、土・日・月・祝の時は直前の金曜日)

ホームページアドレス (蔵書検索もできます) <http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/>

スマートフォンをお持ちの方は
こちらのQRコードからもホーム
ページにアクセスできます。



大竹市立図書館には、ティーンズコー
ナーがあるのを知っていますか？
ティーンズコーナーでは、ティーン
ズ向けの本の展示をしています。春・
夏・秋・冬の年4回、入替えている
のでチェックしてみてください。

☆『冬』(12・1・2月の展示)

テーマは、

知識を蓄えよう

読書には即効性はありませんが、あとで必ず生きる知恵として助けてくれますよ。

1冊紹介♪

『大人を黙らせるインターネットの歩き方』

小木曾 健/著 筑摩書房[Y007 オ]

「何時間もスマホばかり!」「ネットのせいで陰湿なネットいじめが起きるんだよ」「ネットで調べたことは結局記憶に残らないよ」…。こんなこと、大人に言われたら、どう返す?正しい知識と心構えを身につけて、大人の心配なんて吹っ飛ばせ!情報モラルのプロが贈る、「絶対失敗しないネットの歩き方」ガイドブック。



展示本リスト

* []は図書館の請求記号です。

『ぼくらの「トラウマ」』

青木 省三/著 筑摩書房

[Y146 ア]

いじめ、災害、犯罪、死別…。人生の大変な出来事と、それに対する心のいたみ、トラウマについて、そのメカニズムや心の働きを解説。また、トラウマとの向き合い方や対処の方法を、豊富な事例とともに紹介する。

『10代が考えるウクライナ戦争』

岩波ジュニア新書編集部/編

岩波書店 [Y319 シ]

2022年2月24日、ロシアがウクライナに攻撃を開始。若い世代はこの大国による軍事侵攻をどう受け止めているのか。各地の高校生たちに座談会やインタビューで率直な意見を聞き、戦争と平和について共に考える。

『虹の西洋美術史』

岡田 温司/著 筑摩書房

[Y723 オ]

出現の謎や美しさから古代より神話・科学・芸術などのテーマとなってきた虹。西洋美術で虹がどう捉えられ描かれてきたかを、カラー口絵をはじめとする多数の絵画作品とともに読み解く。

『レンアイ、基本のキ』

越 さく良/著

岩波書店 [Y152 ウ]

すてきな恋愛をしたい。そう願うあなたの恋愛が、ひょっとしたら、暴力をふるわれ・ふるう関係に転じてしまうかもしれない…。ハッピーな恋愛とは何か。ハッピーでない恋愛に陥ってしまったときの対処法を伝える。

『16歳からの相対性理論』

佐宮 圭/著 筑摩書房

[Y421 サ]

特殊相対性理論も、一般相対性理論も、スッキリ理解! 「なぜ光の速さは変わらないのか」「時間は絶対的なものなのか」…。物理学者の父親にヒントをもらって思考実験を繰り返す高校生の物語。

『翻訳ってなんだろう?』

鴻巣 友季子/著 筑摩書房

[Y801 コ]

「赤毛のアン」「不思議の国のアリス」「高慢と偏見」「風と共に去りぬ」…。誰もが知っている名作を紙上で訳しながら、まったく新しい「翻訳読書」を教える。訳しにくいものワースト5なども紹介。

『津田梅子』

高橋 裕子/著 [Y289 ツ]

岩波書店

わずか6歳でアメリカ合衆国に派遣された「日本初の女子留学生」であり、日本の女子教育のパイオニアでもある津田梅子。その足跡を、内面や思索にも迫りつつ、最新の研究成果や豊富な資料をもとに解説する。

『2050年の地球を予測する』

伊勢 武史/著 筑摩書房

[Y519 イ]

異常気象がほぼ毎年!? 伝染病が拡大、シロクマが絶滅する!? そうなる前に、ほんのわずかな兆候に気づき、対策することが大事。公害など環境科学の基礎知識から、地球温暖化で起こる未来とその対策までを解説する。

『森鷗外、自分を探す』

出口 智之/著

岩波書店 [Y910 モ]

幕末に生まれて巻き込まれた明治の激動、「舞姫」の裏側にあった本当の恋愛、まだ近代文学の形が定まらないなかで賭けた文筆の道…。その時代の感覚に立ち作品や資料を読み解き、自分探しに悩む森鷗外の姿を浮き彫りにする。

『アンネ・フランクに

会いに行く』 谷口 長世/著

岩波書店

ネオ・ナチの台頭、テロ事件の頻発、ロシアの軍事力の増強など、第二次大戦前夜に似た不穏な雰囲気漂う現在。ナチ収容所で15年の短い生涯を終えたアンネ・フランクの足跡を追う旅を通して、平和の意味を考える。

『生き物と向き合う仕事』

田向 健一/著 筑摩書房

[Y649 タ]

獣医学は元々、人類の健康と食を守るための学問だから、動物を救うことが真理ではない。冷静な頭と温かい心で、日々生き物たちと向き合う獣医師が、「命とは?」「病気とは?」「生きるとは?」を伝える。

『悲しみを生きる力に』

入江 杏/著 岩波書店

[Y916 イ]

悲しみとは何か。なぜ、悲しむことが人にも社会にも大切なのか。2000年12月に起きた「世田谷一家殺害事件」で妹一家を失った著者が、周囲の偏見や心ない報道、愛する家族を助けられなかった自責の思いなど深い悲しみに向き合うなかで、どのように生きる意味をつかんだのかを伝える。

他にもこんな本があります♪

* 『放課後の読書クラブ』

小手鞠 るい/著 偕成社 [Y019 コ]

* 『教室を生きのびる政治学』

岡田 憲治/著 晶文社 [Y311 オ]

* 『学校では教えてくれない自分を休ませる方法』

井上 祐紀/著 KABOKAWA [Y498 イ]

